

ヘルシンキ観光(2023. 7)

2004年8月にフィンランドを訪れ、ヘルシンキ、イバスキュラ、セイナヨキの小中学校の授業を参観した。フィンランドは旧ソ連崩壊の影響を直接に受け、高い失業率にあえいでいた。そのような中でバーサ市のアントレプレナー協会が小規模企業のニーズに配慮した新しい形の教育について提案した。最初のうちは、生徒がキオスクや土産物製造といった小規模な企業を開業するものだった。教室で使われる企業ゲームを含む教材まで出現した。しかし、マッティー・ペルトネンによって起業家精神 (Entrepreneurship) が、独自のビジネスをスタートさせ経営することに関連した「外的起業家精神」と起業家的に仕事をする態度や資質に関する精神に関連した「内的起業家精神」分けられてから、起業家教育は新たな展開をみた。すなわち学校においては、全ての活動を通じてもっぱら、生徒の創造性、柔軟性、勇気、達成動機、イニシアチブ、危機管理、共同作業スキル、等の育成を重視して教育を進めるのである。子どもは学校を終えるまでに小さなビジネス(例えばパン屋)を立ち上げるための知識と技術を習得するのである。森林以外には資源の乏しいこの国が、教育、一人当たりのGDP、国民の幸福度において、常に世界のトップにあるのは、起業家教育の成果と密接に関連している。

今回は、娘婿 family との顔合わせと私たち家族の観光旅行である。



フィンランド中央駅

ヘルシンキ大聖堂



海鮮料理レストランにて海の幸を堪能。

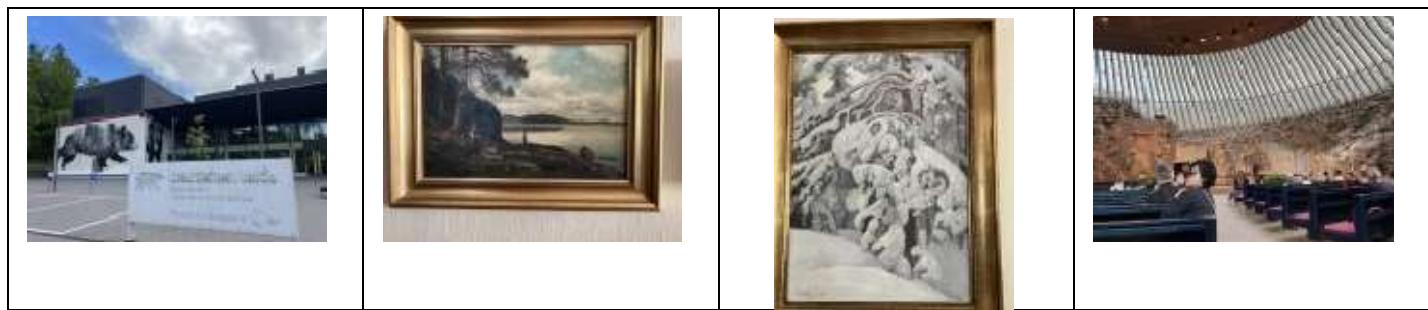
海岸どおりの名建築



^.ヘルシンキは港町、水路を船が行きかう。

娘婿の family と会食

娘婿の母校: Aalto 大学



娘婿の母校: Aalto 大学

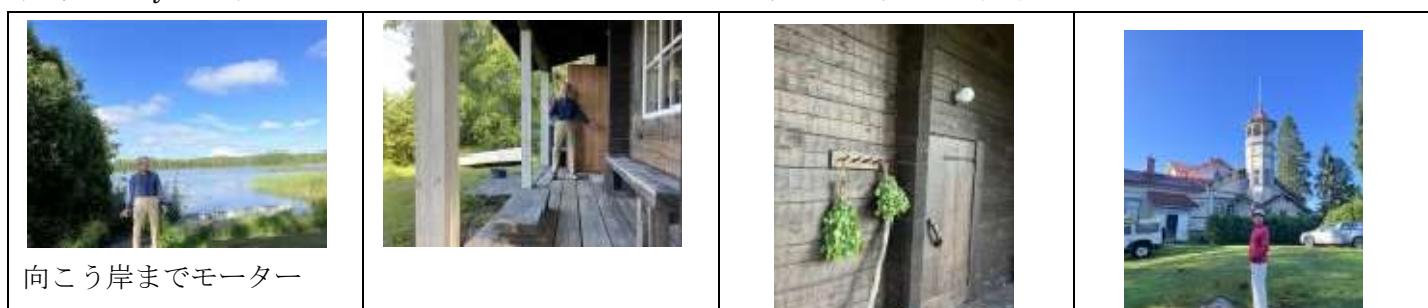
娘婿 family の所蔵する名画(Finland の著名画家作)

岩の教会



娘婿 family の別荘

頑丈なサウナが湖の前に建つ



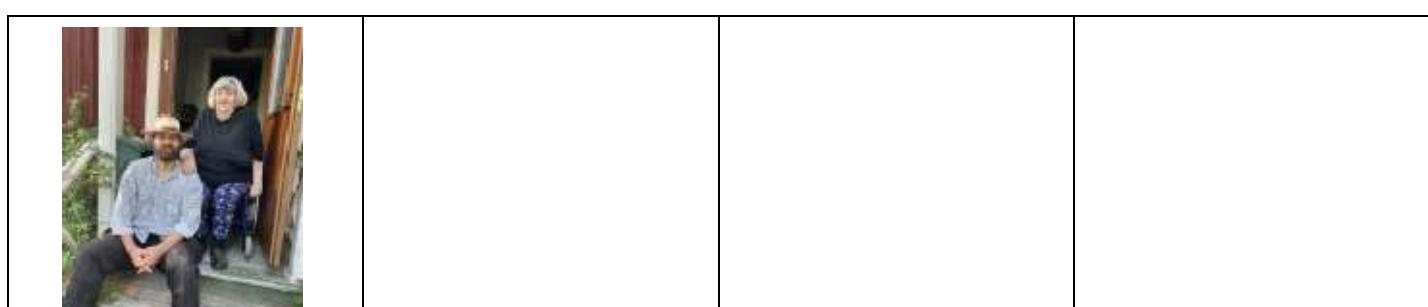
ボートで 30 分

白樺の葉で作った体打ち

大きなお屋敷



おばあさん宅訪問



絵描きのおばあさんと孫